



## 新規および変更情報

- [新規および変更情報 \(1 ページ\)](#)

### 新規および変更情報

次の表は、この最新リリースに関するこのガイドでの機能に対する大幅な変更の概要を示したものです。ただし、このリリースに関するガイドの変更点や新機能のなかには、この表に記載されていないものもあります。

表 1: *Unified Communications Manager* と *IM* およびプレゼンスサービスでの新機能と変更された動作

機能または変更	説明	参照先	日付 (Date)
リリース 14 ドキュメント の初回リリース	—	—	2021 年 3 月 31 日
78xx および 88xx 電話機の SIP OAuth の 有効化	SIP OAuth を使用すると、オンプレミスでも MRA 上でも、エンドツーエンドでのセキュアなシグナリングおよびメディア暗号化を CAPF なしでデフォルトで行うことができます。SIP OAuth が有効な場合、SIP 電話のセキュリティを TFTP で保護することができます。	<ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">SIP OAuth モードの設定タスクフロー</a></li><li>• <a href="#">デバイスの OAuth アクセストークンの有効化</a></li></ul>	2021 年 3 月 31 日
ヘッドセット とアクセサリ のインベント リのダウン ロード	この機能を使用すると、管理者は <i>Unified Communications Manager</i> のユーザインターフェイスから、展開内のヘッドセットとアクセサリの詳細なレポートを CSV ファイルにダウンロードできます。	<a href="#">ヘッドセットとアクセサリのインベントリ</a>	2021 年 3 月 31 日

機能または変更	説明	参照先	日付 (Date)
軽量キープアライブを使用した MRA フェールオーバー	エンドポイント登録機能の MRA の高可用性により、Cisco Webex と Cisco Jabber クライアントは、Cisco Expressway-E、Cisco Expressway-C、およびパス内の Unified Communications Manager といったようなネットワーク要素の障害をすばやく検出し、新しいパスを使用して再登録するために修正措置を取る事が可能になります。	<a href="#">軽量キープアライブを使用した MRA フェールオーバー</a>	2021 年 3 月 31 日
IVR および電話サービスを使用したネイティブ電話機の移行	この機能を使用すると、エンドユーザまたは管理者が、簡単なユーザ インターフェイスですべての設定を古い電話機から新しい電話機に簡単に移行できます。	<a href="#">IVR および電話サービスを使用したネイティブ電話機の移行の概要</a>	2021 年 3 月 31 日
Manager Assistant から Oracle JRE を削除	Oracle Java Runtime Environment (JRE) は Cisco Unified Communications Manager Assistant プラグインに含まれなくなりました。	<a href="#">Manager Assistant の前提条件</a>	2021 年 3 月 31 日
リリース 14SU1 ドキュメントの初回リリース	—	—	2021 年 10 月 27 日
Meraki アクセスポイントのサポート	Unified Communications Manager は、Meraki アクセスポイントを介して接続するワイヤレス エンドポイントの <a href="#">ロケーション認識</a> をサポートします。	<a href="#">ロケーション認識の概要</a>	2021 年 10 月 27 日
OAuth 用の TFTP プロキシサポート	Unified Communications Manager は、TFTP プロキシを SIP OAuth の展開でサポートします。	<a href="#">SIP OAuth モードの有効化</a>	2021 年 10 月 27 日
Wi-Fi から LTE へのコールハンドオフ	Unified Communications Manager は、ネットワークの切り替え中に、Cisco Webex ユーザがアクティブ コールを切断することなく、Wi-Fi ネットワークとリモートネットワークを切り替える柔軟性を提供します。	<a href="#">Wi-Fi から LTE へのコールハンドオフ</a>	2021 年 10 月 27 日
リリース 14SU2 ドキュメントの初回リリース	—	—	2022 年 6 月 16 日

機能または変更	説明	参照先	日付 (Date)
RedSky E911 ロケーション サービスのサ ポート	Unified Communications Manager に統合された RedSky ソリューションにより、クライアントは、キャンパス内やリモート環境に関係なくすべての従業員に対して、9-1-1 緊急コールカバレッジのアクティブな場所の URI を設定し、緊急応答者にコールを送信できます。	<a href="#">RedSky を使用した緊急コールの処理</a>	2022 年 6 月 16 日
パーキング ロットのセ キュアコール サポート	Unified Communications Manager は、SRTP フォールバック オプションのステータスに関係なく、発生元の SRTP 専用コールをセキュア コールのスループットとして処理します。	<a href="#">セキュア コールのキューイング</a>	2022 年 6 月 16 日



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。